

審判の役割基本事項

(基本を必ず覚えて、審判をしよう)

1 主審について

- ・ 前後，左右，高低にフットワークよく動き，なるべくボールのそばでジャッジするようにする。
- ・ 笛の音の長さ（３種類）の使い分けをはっきりする。特に，試合終了時のホイッスルは，しっかり強く吹く。
- ・ コールするときは，ホイッスルを口から落とし，大きくはっきりとした声で行う。
- ・ ファール時の手を挙げる動作，笛をしっかり行う。
- ・ アウト・オブ・バウンズの動作，笛をしっかり行う。
(アウト・オブ・バウンズの成立は，ボールが床，壁等にあたってから)
- ・ 協議を行った場合は，必ず両方にチーム，選手に**センターサークルよりもやや後方**で選手全員に聞こえるように説明をする。
- ・ タイムインは，センターライン上の位置に戻ってから行い，守備側の陣営がととのってからタイムインをする。
- ・ ヘッドアタックならびに頭や顔面にボールがあった場合には，すぐにタイムをかける。選手の状態を確認したのち，監督をコートに呼び入れ，試合を続行するかどうかを確認する。
- ・ アタック時は，予想をして姿勢を低くし，バウンドしているかどうかを注視する。
- ・ ジャンプボールの時，ジャンパーのゼッケンを必ず確認する。

2 副審について

- ・ センターラインのオーバーラインを独りで見える。
- ・ 前後，左右，高低に動き，センターラインから目を離さずに，サイドラインにも目を配る。
- ・ 主審の見落としたアウトの素早いフォローをする。特に主審のブラインドをよく見る。
- ・ 低い姿勢でゲームを判定するときは，膝に手を置かない。
- ・ ジャンプボールのタップを注視する。
- ・ 試合終了時，主審が気付かない場合は，主審よりも早くコートに入り，試合を止める。

3 線審について

- ・ ゲーム中は，棒立ちにならないようにする。
- ・ プレーに遅れないように回り込み，判定すべきラインを体の中心においてみる。
- ・ コール，笛，ジェスチャーは主審に向かって大きくはっきりとする。特に，ノータッチ，ワンタッチの動作には注意をする。ワンタッチのコールは，大きな声で言う。「**番，ワンタッチ**」
- ・ オーバーラインスローのアドバンテージをよく見る。
- ・ 主審，副審の見落としたアウトの素早いフォローをする。タイムを要求し協議する。タイムを要求した時のボールの支配権を必ず確認する。
- ・ アタックを予想し，姿勢を低くしてオーバーラインを見逃さない。

4 計時係について

- ・ 表示用デジタルタイマーの0になった瞬間が，試合終了であることをしっかりと認識する。
- ・ 試合終了時間1分前からタイマーを意識する。終了と同時に大きくはっきりと笛を吹く。「ピッピーッ」
- ・ 主審のタイムの合図があったら，直ちにデジタルタイマーを止める。

5 記録係について

- ・ ゼッケンの色とチーム名を確認する。
- ・ 内野から外野に出る選手のゼッケン，外野から内野に入る選手のゼッケンを確認し，チェックする。（本来は，コートマスターの仕事，茨城県の取り決め）
- ・ 試合終了時に主審から人数の報告があったら，復唱し，記録表に記入する。
- ・ 両チームの監督から，勝敗を確認してもらい，サインをしてもらう。
- ・ スコアカードにスコアを記入し，勝ちに○，負けに×，引き分けに△をつけ，コートマスターからサインをもらい，最後に主審からサインをもらう。

6 その他

- ・ 選手が試合中怪我した場合は，気づいた審判がタイムを要求する。
- ・ タイムを要求した場合は，ボールの支配権を必ず確認する。
- ・ 靴ひもがほどけたときは，ボールデットの時に結ばせるようにする。
- ・ 6人の審判がアイコンタクトをとりながらジャッジする。
- ・ 協議は30秒以内に行うようにする。
- ・ **試合開始，終了時のあいさつについて**
オフィシャル席の3人は起立し，主審の礼にあわせて礼をする。
ベンチに入っている，監督・コーチ・マネージャーも起立し主審の礼にあわせて礼をするとともに，相手ベンチに対しても礼をする。